



【mFOLFOX6+ベクティビックス療法について】 (5-FU+レボホリナート+エルプラット+ベクティビックス)



😊 **お薬の名前と治療のスケジュール** (副作用の状況を考慮して、抗がん剤の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。)

薬の名前	作用	目安の時間	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
ネオレスタール注	過敏症を抑える薬です	5分																												
デカドロン注 ナゼア注	吐き気止めです	15分																												
ベクティビックス注	抗がん剤です	1時間																												
エルプラット注	抗がん剤です	2時間																												
アイソボリン注	5-FUの効果を強める薬です																													
5-FU注	抗がん剤です	約5分																												
5-FU注(持続)	抗がん剤です	46時間																												

😊 治療による副作用

: 注意が必要な時期

		1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
自覚症状	過敏症																												
		痒みや顔のほてり、じんましん、脈が速い、息苦しいなどの症状が出た場合はお知らせ下さい。																											
	食欲不振・吐き気																												
		食欲低下や吐き気がすることがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。																											
	手足のしびれ																												
		手足のしびれ、感覚が鈍るなどの症状が出ることがあります。冷たい物に触れないようにしましょう。																											
	口内炎																												
検査値	色素沈着																												
		口の中が荒れて痛みが出ることがあります。歯磨き、うがいなど丁寧にしっかりと行いましょう。																											
	脱毛(頭髪・まつ毛・眉毛など)																												
		髪質が少し変わることもありますが、治療後半年程度でまた生えてきますので、心配しすぎないでください。																											
	皮膚症状(皮疹、乾燥、爪囲炎など)																												
		にきびのような発疹ができたり、皮膚が乾燥してひび割れができることがあるので、保湿剤を使うなどして予防しましょう。																											
	白血球減少																												
検査値		感染しやすくなりますので、手洗いうがいを心がけましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																											
	赤血球減少(貧血)																												
		貧血の症状(めまい・ふらつき)がでたりします。転倒に注意しましょう。																											
	血小板減少																												
検査値		出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																											
	肝機能低下																												
	体がだるい、食欲がでない、皮膚のかゆみ、皮膚や白目が黄色くなるすることがあります。																												



- * 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
- * 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
- * それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
- * 何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。